

諸元 (仕様は予告なく変更することがあります)

型式	GL430
畦数	4 畦
畦幅 (標準)	75cm
畦幅 (オプション)	75~96.4cm オプション
タイヤ	4x11.5/80-15,3AS
種芋バンカー容量	3,500kg
トラクター要求馬力	80馬力以上
全長	5.00m
全幅 (畦幅75cm)	3.29m
重量	2,350kg
カップと種イモサイズ	赤; 50mm以下 緑; 50mm以上
植付け間隔 (カップ色)	12.5~45cm (赤) 27段階 16.0~52cm (緑) 27段階
畝オープナー	ゲージホイール付きオープナー
肥料ホッパー	450kg×2
肥料供給	ディスクオープナー (側条施肥=1つの畝に2ヶ所)

オプション 数多くのオプションがございます。



液肥/薬剤散布装置



ISO-BUSコントローラー



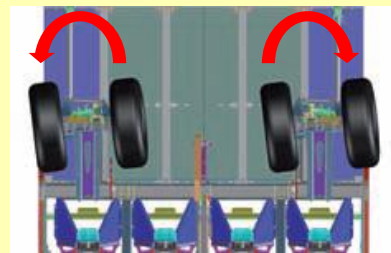
カゴローラー



①CCIカメラ/②モニター



ストーンオープナー



ステアリング装置



牽引式ポテトプランター GL430



農作業安全のワンポイント(取扱説明書の熟読を)
操作ミスは作業効率を悪くするばかりでなく、事故にもつながりかねません。機械の作業者を最大限に発揮させ、安全な作業を行うために、トラクターや作業機に貼付されている安全ラベルや取扱説明書をよく読み、正しい取扱いを心掛けましょう。

日本ニューホランド株式会社

お問い合わせ

交通安全意識 日本ニューホランドの社員は、交通事故や違反で皆様にご迷惑をおかけしないためにも、社速度を厳守します。また、業務中の携帯電話の使用を控えさせていただきます。

ホームページ <http://www.nh-hft.co.jp/>

新商品情報や中古情報などお役に立つコンテンツが満載

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-43-2151

月曜～金曜(祝祭日除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

このカタログに使用されている写真は海外仕様のため、日本仕様とは一部異なる場合があります。

安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

日本ニューホランドはFOOD ACTION NIPPONの推進パートナーです。

牽引式側条施肥付ポテプランター GL430の優れた性能

施肥 + 播種 + 培土の1台3役

高品質な馬鈴しょ収穫と収穫作業の効率化への近道

GRIMME社はポテト関連作業機に特化した全世界で認められているドイツの老舗メーカーです。
馬鈴しょを知り尽くしているGRIMME社が更に改良を重ねて開発した牽引式側条施肥付のプランターを
プロの馬鈴しょ栽培農家様へ自信を持ってご提案します。また、このプランターはプレリッチ栽培(*)にも対応しています。

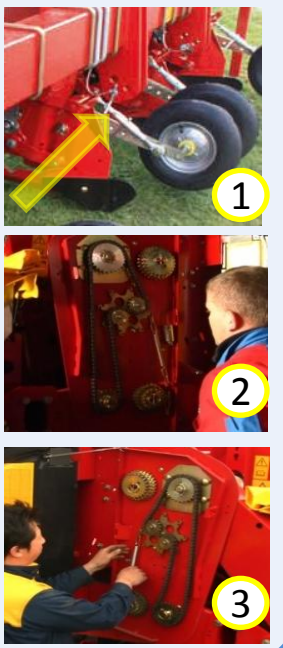


簡単調整

基本的な調整は工具なしで簡単にできます。

- ①播種深度
ホイールの高さで調整
- ②播種間隔
本体右側のギアの組替えて調整
- ③肥料の散布量
本体左側のギアの組替えて調整

圃場条件や肥料に合わせて微調節できます。



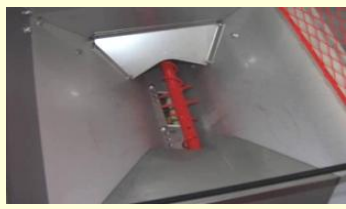
コントロールBOX

電動シェーカーの振動の強弱
などを調整
(OPでISO-BUS等の電子式コントローラ
に変更可能)



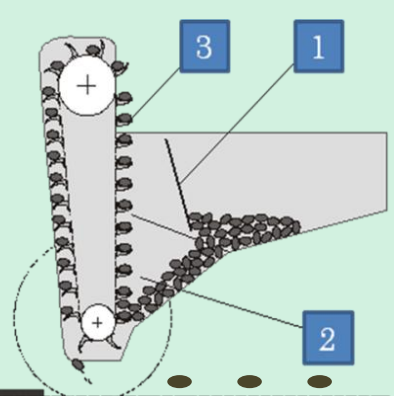
1工程 施肥

- ・450Kg×2の大型ステンレスホッパーを搭載。
- ・種イモにとって最適な位置に、必要な量を正確に、施肥することができます。
- ・スクリュアジテーターにより詰まることなく肥料を供給します。
- ・石に強いダブルディスク方式を採用。



2工程 播種

- ・種イモのサイズによって赤、緑に色分けされたカップを使用します。(赤50mm以下、緑50mm以上)
- ・カップにインサートアタッチを付けることでより小さな種イモにも対応出来ます。(右写真 青と黒)
- ・播種間隔はギアの組替えて27段階まで調節可能。(工具なしで簡単調整)
- ・グリメオリジナル畝オープナーにより設定した深さに播種をします。



確実に1粒を載せる為の3つの工夫

1. シャッター
必要以上に種イモがバンカー底部に供給されないように制限します。
2. 電動バイブロ装置付バンカー底部
種イモの塊をほぐし、カップが種イモをすくいやすくします。
3. 電動シェーカー
カップベルト自体が振動することによって複数載った種イモをふるい落とし、確実に1個にします。

3工程 培土

- ・播種された種イモと肥料はプランター後部のシェーピングボードによって培土されます。
- ・スプリングレグの採用によりすべての畝を均一に成形します。
- ・圧力調整は無段階で調節可能。



均一に、しっかり培土することで緑化イモを減らし、畝崩れも防ぎます。

*プレリッチ栽培とはオランダ、ドイツで近年普及している栽培方法で、あらかじめ畝立てしたところに播種する方法のこと。培土内に耕盤ができにくく、土塊が減ること収穫時の効率に大きな差が出ます。また、培土が崩れにくく、緑化イモ低減につながります。